

学校名 川口市立安行東小学校
所在地 川口市安行出羽4丁目1番1号
電話 048-295-7960

1 本校の概要

本校は児童数 945 名、学校教育目標「すすんで学ぶ子」「思いやりのある子」「たくましい子」を教育の柱とし、心豊かな児童の育成に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 大規模校の現状を踏まえた貸出システム

開校以来大規模校である本校において、児童数に対し学校図書館が狭い。また、書棚が少ないこともあり、配架・貸出システムの工夫などを行いながら、児童が使いやすい図書室をめざしている。

ア 動線の工夫

入口と出口を分けたり、配架順序を変えたりして、密にならないようにしている。児童に人気のある本や新着図書のコーナーを入り口付近の目立つところにするなど児童の興味・関心を意識しつつ、一か所に児童が集中しないよう工夫している。

イ 電子化導入

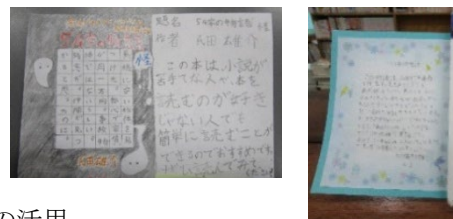
本校は全部で 32 学級あり、貸出の日には多くの児童が密集するという課題があった。そこで学年・学級で貸出の曜日と時間を指定する分散貸出を継続している。昨年度は貸出カードと返却カードを別にするシステムを導入したため、本年度もそれを継続していたが、それでも貸し出し日には多くの児童が学校図書館に足を運び、時間内に貸し出しが終わらない、密になるという課題があった。現状を踏まえ、本年度は電子化を導入することとなった。現在、学校図書館司書を中心に登録作業を行っている。登録作業終了後は、貸出数や読書傾向の把握など、電子化の利点を図書指導に活かしていく。

(2) 本の紹介の取組

ア 図書委員会・ブッククラブによる本の紹介

図書委員がお勧めの本を紹介するカードを作成した。児童に様々な分野の本を手にとってもらえるよう作成時の分担を工夫した。普段手に取ることが少ない本を手にとる児童もおり、読書推進に繋がった。また、本年度からブッククラブが新しく立ち上がった。

た。本が好きな児童を中心に、本を読んだり読み聞かせをしたりするなどの活動をしている。希望する児童に、本の紹介カードを作成してもらい、図書室に掲示した。



(3) 学級文庫の活用

本校では、月に 1 度学級文庫を交換している。学級数が多いこともあり、月に 1 度学級文庫を回すという習慣が定着しづらい現状があった。児童に日常的に本に親しんでもらえるよう、月に 1 度の学級文庫の交換を図書委員会の仕事にするようにした。新しいコンテンツが回ってくると喜ぶ児童も多く、日常の読書環境に変化が見られた。

(4) 掲示板の有効活用

毎月、季節の情報や知識、漢字の読み方などを掲示して、教室から遠い学校図書館へ興味を引くようにしている。



(5) あおぞら号の活用

市立図書館のあおぞら号が毎月学校に来るため、学校だよりに載せるなどして活用を促している。たくさん本を借りられるため、楽しみにしている児童が多くいる。

3 今後の課題

(1) 課題

- 電子化による貸出システムの早期導入

登録作業に時間がかかっており、学校図書館の開室に時間がかかっている。なるべく早く開室して児童が本に親しめる環境づくりをしていきたい。

また、貸出システムを活用した各学級の貸出数などのデータを図書指導に活かせるようにしていきたい。

(2) おわりに

今年度の電子システム導入は児童の図書環境を大きく変えるチャンスであると考えている。システムを有効活用し、学校図書館の充実を図りたい。